

第6回 東京高輪病院地域協議会 議事概要

1. 日 時 平成 29 年 2 月 8 日 (水) PM7:00~8:00
2. 場 所 東京高輪病院 4 階会議室
3. 出席者 地域協議会委員 20 名出席
代理出席 星智貴港南 3 部救急隊長 (早川康介高輪消防署消防指令長代理)
欠席 藤田耕一郎港区医師会長、村田直信白金猿町町会長
八木弘充東京高輪病院健診課長

4. 概 要 (●: 委員からの意見等、・: 当院からの報告等、➤: 当院からの回答等)

(1) 開会挨拶

(2) 報告事項

① 前回議事概要の確認と進捗報告について (木村院長)

- ・資料「第5回地域協議会議事概要」に基づき報告があった。

② 国際部の紹介と活動報告について (島津医事課長)

- ・パワーポイントの投影に基づき報告があった。

●中国人が訪日し C 型肝炎の治療をするケースが多い。保険料の算定には前年度の日本での収入がないため、一番安く健康保険証が取得できる。保険証取得後にハポニーを 12 週間行い C 型肝炎が治ると帰国してしまう。支払いには高額医療制度や港区の補助もあり数万円で済んでしまう。

日本での起業や通学など何らかの目的で在留する必要があるが、そういうブローカーもあり、自分の会社に入社させて保険証を取得するというを行う。それをどうしていけばよいのか。

➤最近では偽物が出たりしており、ハポニーの問い合わせは減ってきている。「ジャパン インターナショナル ホスピタルズ」では、悪質なものを排除するために、認証機関を介したものでないと応需しないこととしているが、指摘のあった保険制度の問題は残ると思う。

●港区には 355 のホテルと、81 の大使館があるが、どこを紹介したらいいのかというホテルからの問い合わせが多い。業者、ホテルの関係者の会議もあり、高輪病院を紹介してもよいのか。

➤ホテルなどへの周知を行っているが十分でないため、同席が可能であれば説明に伺える。

●外国人で持ち込みの感染症患者が出ると思うが、ホテルもよくわからずに病院に送っているようである。保健所と高輪病院の感染症科とで連携が取れ、感染症指定医療機関に搬送して行くことができると思う。また、ホテル自体が対策を考えていく必要があることから、保健所と検討をしていく場を設ける予定としており、そこに係っていただければ有り難い。

➤外国人で少し熱が出てでも輸入感染症の場合もあり連携させていただく。

●外国人の夜間対応はどのようにしているのか。

➤タブレット端末で言語対応している。英語・中国語・韓国語は 24 時間対応、20 時までは東京都保健医療情報センターの「ひまわり」を活用する場合もあり、人とタブレットという形で対応している。

●高輪消防署救急隊も、東京都の対応の一環で、ほぼ全隊に英会話ができる隊員を乗せている。

(3) 議題

①当院の訪問看護活動について（柳尾看護師長）

・資料に基づき報告があった。

・近隣にも訪問看護ステーションが多くあり、当院が訪問看護ステーションを開設することが地域から望まれていることなのかご意見を伺えればと思う。

●多くの高齢者からの相談の中で、高輪病院で入院や外来診療の方が多数いること、また要介護となると一旦在宅に戻っても体調が不安定で再入院し在宅復帰に向けてということもあり、病院併設の訪問看護ステーションは主治医やケアマネジャーが入院時の連携など強みになると思われる。

●ケアマネジャーだけでは対応しきれない困難なケースも多く、手厚い医療が必要であり、生活状況も苦しいというケースも多い。状態が不安定になってきた時に、離れてしまうと入院時の情報が中々取れない。病院併設の訪問看護ステーションで、しばらくは内部の情報交換ができる状況で地域の訪問看護ステーションに引き継いで在宅への移行に入ってもらえれば、スムーズで有益な情報交換ができるのではないかと思う。

●高齢者人口が増加する状況で、在宅ケア・在宅療養では区としても病院併設の訪問看護ステーションは心強いし、患者や家族にとっても安心感や心強い部分はあるかと思うので、ケアマネジャーの意見も聞かれればよいと思う。

●2025 年問題については、港区は 2040 年まで伸び続ける中で、訪問看護ステーションは多い方がいいと思う。一方、地域包括ケアの観点からは、医療と介護が連携を強化し地域の中である程度完結した体制が組めるようにする必要がある。病院併設により、地域の医師からは囲い込みというような形になるのは広がりが出て来ず望ましくないので、病院併設の訪問看護ステーションとしての特徴を出して地域に繋いでいく仕組みになるといいと思う。

●退院することが不安な方や在宅生活が難しいと思われる方でも退院せざるを得ないことがあり、たとえ月 5 回であっても自宅へ訪問看護が入ることで、納得する方も多いのではないのかと思う。

➤自宅に人を入れるのを嫌がる高齢者もいるが、病院の看護師が行くと言うと受け入れてくれるケースも多ので、連携を取っていければと思っている。

②今後の地域協議会の開催日について

- ・今後の地域協議会の開催について、9 月と 2 月の第 2 木曜日をベースとして、日程調整することとなった。

(4) 閉会挨拶

(了)